

## 4月14日：マーケットは反発、VN指数は1,250ポイント水準に値を戻す

素材、銀行株に買い戻しが入り、ベトナム株は朝方の下落から値を戻し反発した。

ホーチミン市場の主要指標であるVN指数は0.6%（7.54ポイント）高の1255.87ポイントで取引を終えた。同指数は前日0.33%安で取引を終えており、朝方も0.37%安と売られていた。

マーケットの出来高は引き続き高い水準であり、売買高は約8億6,200万株、売買代金は19兆3,000億ドンを超えた。

「同指数は今後利益確定売りが引き続き重しとなり、その後短期的な上昇に切り返す可能性がある」（バオベト証券の株式アナリスト Tran Xuan Bach氏）

「全体的にはVN指数は今後1,275～1,300ポイントの上値抵抗線に向け、引き続き上昇が予想される。加えて、国内勢の投資資金はマーケットを支える主なけん引役になっている」（同氏）

銀行、素材関連株といった大型株に買いが入ったことで株価は回復。

VN30指数は1.05%高の1,290.77ポイント。

同指数組入銘柄のうち20銘柄が上昇、9銘柄が下落、1銘柄が変わらずだった。

マーケット上昇の寄与度が最も大きかったのはホアファットグループ（HPG）で5.79%上昇した。それに続き、マッサングループ（MSN）が7%上昇しストップ高を付けた。終値は100,700ポイントだった。

その他マーケット上昇に寄与した上位5銘柄には、ベトコムバンク（VCB）、ノバランド不動産投資グループ（NVL）、ヴィエティンバンク（CTG）が含まれた。

ペトロベトナムガス（GAS）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、FPT（FPT）、ベトジェット（VJC）もよく買われた。

その反面、ビンホームズ (VHM) 、ビングループ (VIC) 、ビナミルク (VNM) 、ベトナムゴム工業グループ (GVR) はマーケット上昇の重しとなった。

マーケット下落の寄与度が最も大きかったのはビンホームズで 1.95%安。

「投資家にポートフォリオに占める株式の投資比率を 65~80%に保つことをお勧めする。現金比率の高い投資家は株価下落時に株式の投資比率を高めるため、ロングポジションを取り始めることを検討するかもしれない」 (バオベト証券の Bach 氏)

ハノイ市場では、HNX 指数も 0.9%高の 294.83 ポイントで取引を終えた。HNX30 指数は 1.13%高の 446.69 ポイントだった。

国内勢は 2 兆 7,000 億ドンを買い越し、売買高で 1 億 6,700 万株を超えた。

だが、外国人投資家は両市場 (ホーチミン、ハノイ市場) で売り越し、ホーチミン市場では 1 兆ドン、ハノイ市場では 152 億 6,000 万ドンを売り越した。

---

## ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。